

(3) 読書を支える多様な環境

子供たちの日々の読書環境を、
より快適に、より充実したものにするために

「みなみたなか“本”ターネット」
様々な本に触れることができる場所。
本との出会いが広がる空間。

【第2学年「スイミー」
主人公に当てた手紙、作品の紹介】



【第1学年「ほんはともだち」
お気に入りの絵本とその紹介】



この本、面白いよ。
お兄さん、お姉さん達も読んでみてね。

【第3学年「三年とうげ」
民話に関する情報交流】



世界にはいろいろな民話があるんだね。
図書館に行って借りてみよう！

本に関する情報と、全校児童が発信・交流する場として「みなみたなか“本”ターネット」の掲示板を作成した。授業で学んだことや授業から関心を抱き調べてみたことなど学年を超えて発表する場を作ることで、様々な本と出会う機会を作ることができた。下級生の発表の際には、かつて学んだ教材を思い出す機会となり、上級生の発表では、これから学ぶ教材への意欲付けを行うこともできた。

「おすすめの本コーナー」
3・4階スペースを利用し、気軽に立ち読みができる場所。



廊下に「立ち読みスペース」があると、何気なく歩いていても、自然と本が目に入ります。



学校図書館や区立図書館に行かなくても、気軽に本を手にとることができるので、今までより「本」を読む時間が増えました。

廊下の空きスペースに本の展示コーナーを設置した。気軽に本を手にとって立ち読みすることができるコーナーとして、身近に本に触れる機会をつくり、より本に対する親しみを育むことができている。